要　約

試験の表題

p-ジクロロベンゼンの*Pseudokirchneriella subcapitata*による藻類生長阻害試験

試験条件

(1) 被験物質	*p*-ジクロロベンゼン
(2) 試験生物	*Pseudokirchneriella subcapitata*
(3) 暴露期間	72時間
(4) 試験濃度	試験原液の含有率が100、32、10、3.2、1.0及び0.32%（公比$\sqrt{10}$）の6濃度区及び対照区
(5) 試験方式	旋回振とう培養（約100回／分）
(6) 試験液の調製	供試試料と培地を混合、撹拌して100mg/Lの溶液を調製し、これをメンブランフィルターで加圧ろ過したろ液を用いて調製
(7) 連数	6連／対照区 3連／濃度区
(8) 試験液量	600mL／対照区（100mL／試験容器） 300mL／濃度区（100mL／試験容器）
(9) 培養温度	21～24℃（±2℃の変動幅）
(10) 照明	蛍光灯による照明［液面付近での光強度60～120μE/m^2/s（平均値±15%の変動幅）とする連続照明］
(11) 生長の測定	細胞濃度
(12) 試験液中の被験物質の分析	HPLC法（暴露開始時、暴露開始後24時間、48時間及び暴露終了時）

試験結果

(1) 培地への溶解度（23±1℃）	51.6mg/L（予備試験での測定値）
(2) 試験液中の被験物質濃度（対開始時濃度）	
	暴露開始時　0.13～47mg/L
	暴露開始後24時間　0.090～27mg/L（57～68%）
	暴露開始後48時間　0.061～20mg/L（42～54%）
	暴露終了時　0.084～28mg/L（59～67%）
(3) EC_{50}（E_rC_{50}）	5.4mg/L（95%信頼限界；算出不可）
(4) NOEC（生長速度0-3d）	0.83mg/L

［(3)、(4)は、測定濃度の幾何平均値に基づく値］